



トラック・重機の正しい査定・確かな金額

第19回 そうだったのか！シグマの学べるニュース

お客様 各位

この定期配信も御客様にとっても御好評を頂きましてありがとうございます。これからもみなさんのお役に立つ様にみなさんの疑問を解決し、有効な情報をお送りして行きたいと思っております。

Q 大型低年式車 ISUZUの高騰とその背景とは・・・

回答：

以前、輸出対象国ごとに好みのメーカーが違うと言う話をさせて頂いた事があります。東南アジアでもISUZUを好む国もございまして、フィリピンもそのひとつでございます。高騰の背景の前に簡単にフィリピンの説明をさせて頂きますと 日本では右または左ハンドルはどちらでも存在しておりますが、フィリピンでは右ハンドル車はNGで許可されてません。よってフィリピンに到着後左ハンドルになるように改造しています。

国内のお客様には海外に売れば高く売れるやないか！と良く言われますが各種書類手続きやハンドルの差し替え、コンテナ作業、を考えるとそんなに商売甘くない・・・と言った感じでしょうか。愚痴はそれぐらいにしておいてリーマンショック以降東南アジアでいち早く復活してきたフィリピンは現在でも好調な状況が続いておりますし、リーマンショック後に一番安定している市場は、リーマン前には一番不安定な市場の1つであったフィリピンです。現地の需要高からの車両高騰も理由にあげられると思います。

一部のKL以外新しい車両を好まないのでもKC-などの車両は数が減り現地での競争激化から現状の数値がでているのも理由にあげられると思います。4低床より引きづり車両を好むのは一般的には道路環境が粗悪で4低床は向いていないからです。

一時期のコンテナでしか船積みができなくなるという噂がなくなり、現地でも通常通りに船積みができるということになり、フィリピン向けと思われるCYM、CYL、FUカーゴトラックやいすゞ、三菱トラックターヘッドの金額が異常とも言える高値を維持しております。

本日の回答者：立敏（リーミン）
シグマインターナショナル輸出部 マネージャー 33歳
内モンゴル出身 中国にて新聞記者、日本の国立大学院を経て
ジー・トレーディングに入社し、その後シグマインターナショナル輸出部に所属
言語：北京語、モンゴル語、日本語、英語
好きな事：肉まんを作る事



査定のご依頼、お問い合わせお待ちしております！！

シグマ・インターナショナル株式会社

住所：神奈川県横浜市中区海岸通り3-9横浜ビル4F

TEL：045-680-1742 FAX：045-228-8490 e-mail: info@sigmaintl.jp

圧倒的な海外ネットワークで車両資産を正當に評価いたします。

Create new value by innovation